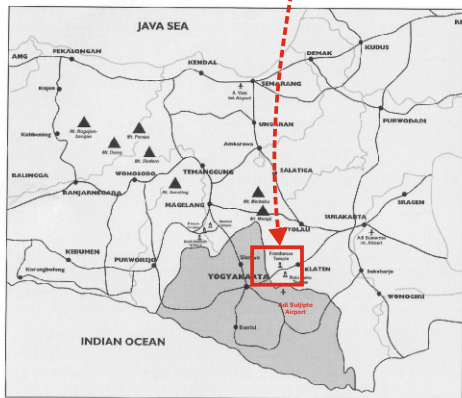


ジョクジャカルタ、インドネシア



PRAMBANAN, ジョクジャカルタ

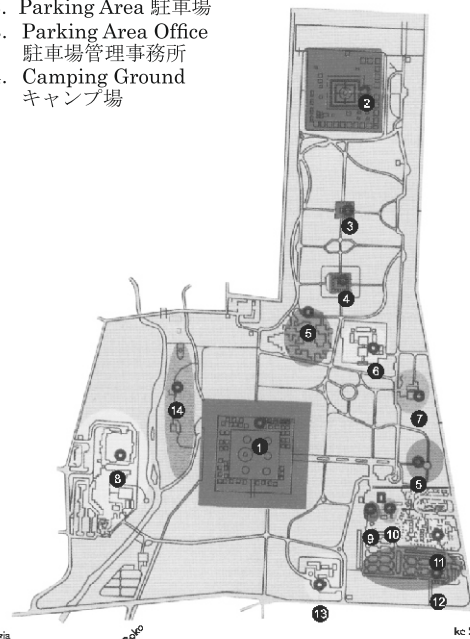


世界地図



LEGEND プランバナン寺院群遺跡案内図

1. プランバナン寺院
2. セウ寺院
3. プーブラッ寺院
4. ルンブン寺院
5. 遊び場
6. 視覚室&考古学博物館
7. Restaurant レストラン
8. Ramayana Open Air Stage
ラーマヤナ野外劇場
9. Information Center 案内所
10. Ticketing チケット売り場
11. Souvenir Shop 土産物店
12. Parking Area 駐車場
13. Parking Area Office
駐車場管理事務所
14. Camping Ground
キャンプ場



ke Jogja

ke Candi Ratu Boko

ke Solo



PT. TAMAN WISATA CAMDI
BOROBUDUR, PRAMBANAN & RATU BOKO (PERSERO)
Jl. Raya Yogya - Solo Km 16, Prambanan,
Yogyakarta 55571 - INDONESIA
Tel : +62 274 496 402
Fax : +62 274 496 404
corporate@borobudurpark.co.id

PRAMBANAN のオフィス
Tel : +62 274 496 401 / 496 405
コールセンター : (024) 8646 2345

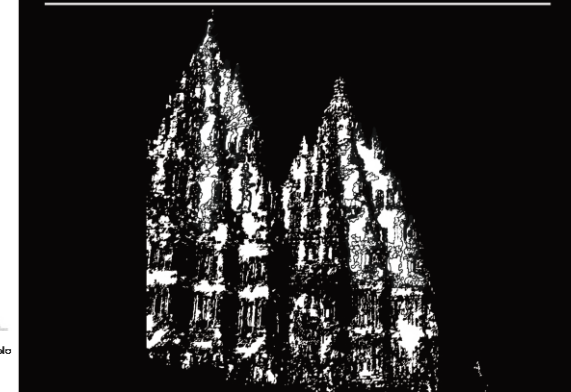
SMSの中心 0815 0100 0900

wonderful
indonesia

World
Heritage



Prambanan



www.borobudurpark.com

JAPANESE

プランバナナ

プランバナナ寺院は世界で最も背の高い、美しいヒンドゥー教寺院。1991年ユネスコにより世界文化遺産に指定された寺院群の一部で、正式名はプランバナナ寺院複合体。この寺院複合体はプランバナナ寺院、セウ寺院、ルンブン寺院、ブーブラッ寺院とアス（ガナ）寺院から成り、アス（ガナ）寺院を除く寺院はプランバナナ寺院群内にある。

歴史

プランバナナ寺院は9世紀ごろ建造され、ラカイ・ピカタン王によりシャカ暦778年（西暦856年）に開闢された。この寺院はシヴァ神が奉納されているので、シワグラム（シヴァの住まい）とも言われている。寺院は同心に配列された中心となる3つの内苑から成り、第1内苑は最も神聖な部分と考えられ、真ん中に位置している。当初、第1内苑には16の堂、第2内苑には224の祠堂が在り、第3内苑には祠堂は無く、堂、祠堂の総数は240だった。第1内苑の16の堂は3つの主堂（ブラフマ、シヴァとヴィシュヌ）、3つのワハ

ナ（神の乗り物）堂、4つのクリル（災難除け）堂、他の堂の側面に並ぶ2つのアピット堂と複合体の角にある4つのパトック堂から成っている。47.6mのシヴァ堂は他の2つの堂（ブラフマ堂とヴィシュヌ堂は33m）に比べて最大で最高の高さがあり、シヴァ神がヒンドゥー教の至高神を表している。最大のシヴァ堂は4つの房があり、東を向く中心房にはシヴァ神立像が安置され、北を向く房にはドゥルガ（シヴァ神の妃）像、西を向く房にはガネー（シヴァ神の息子）像、南を向く房にはアガスティア（聖仙）像が収められている。一方、ブラフマ堂とヴィシュヌ堂にはブラフマ神像とヴィシュヌ神像が安置されている。第1内苑の堂は豊かな装飾がほどこされ、最高の装飾は2本のカルパタル（天樹／生命の樹）に挟まれた獅子レリーフ。それぞれの樹の下にキナラとキナリと呼ばれる涅槃の創造物（人首鳥身）像が左右に配置されている。キナラとキナリはしばしば僧や別の動物に置き換えられる。この種の装飾はプランバナナ寺院だけに見られ、それゆえプランバナナのモチーフと言われている。シヴァ堂とブラフマ堂の欄楯の内側にラーマヤナ物語のレリーフ、ヴィ

シュヌ堂にはクレスナヤナのレリーフが浮き彫りされている。第2内苑にはかつて4列に配置された224の祠堂があったが、ほとんどが消失し、117の祠堂が残るのみ。残る祠堂のほとんどが崩壊が進み、2つの堂だけが運よく修復されている。これらの14mの祠堂は第1内苑の背後の4方角に向いている。

ラーマヤナレリーフ

第1内苑主堂の第3欄楯の側壁にはレリーフがほどこされ、民話、英雄譚、喜劇、悲劇や恋物語などのヒンドゥー教物語が描かれている。シヴァ堂とブラフマ堂の欄楯に描かれたラーマヤナ物語のレリーフは、プランバナナ寺院の西に位置する野外劇場で毎晩上演されているラーマヤナ舞踊劇に取り上げられている。この舞踊劇はプランバナナ寺院を背景に総勢250名の舞踊手で上演されている。

ロロ・ジョングランの伝説

この物語は、プラブ・ボコの美しい娘ロロ・ジョングランと結婚したがって



いるバンドゥン・ボンドウオソという名の若者の話。ロロ・ジョングランはバンドゥン・ボンドウオソと結婚したくないので、一夜で千の寺院を建てるようボンドウオソに願い出、やんわりと断わろうとしました。ところが、ボンドウオソは願いを聞き入れ、妖怪団に助けを求めました。夜明け前、ロロ・ジョングランはほとんど建立作業が終わっている事を知り、女性たちにルスン（米をつく道具）をたたいて、目を覚ますよう命じました。夜明けが来たように見せかけるために藁を燃やしたので、妖怪団は作業が完了していないのに作業を止めてしまいました。ロロ・ジョングランに騙されたことを知ったボンドウオソは怒り、未完成だっ

